

帰国準備と帰国後の教育

日本への帰国準備と帰国後の教育についての情報をお届けします。

主なテーマ

日本帰国後の英語教育

英会話学校はたくさんあります。日本国内の教育情報

帰国子女入試・編入情報

(小学校・中学校・高校・大学、ほか)

帰国子女受け入れ校の教育

帰国後の英語力維持・伸長

帰国後の英語での学習

帰国子女の海外留学

帰国子女 OB の生活

なお、アメリカ・カナダへの渡航から、日本帰国までの現地での教育の情報は、「海外での教育」のセクションで扱います。

NEWS 幕張インターナショナル 幼稚園・小学校 開校！

幕張インターナショナル・スクール（幼稚園・小学校）が、千葉県幕張市に、この4月、開校します。

この学校は、教育特区を利用して、千葉県・市、私立学校などが協力して作られた、学校教育法第一条で定められた学校です。文部科学省の指導要領に従った教育を行いますが、国語などの一部の教科を除き、英語でのイメージ教育を行います。

<http://www.mis.or.jp/>

☆

これまでのインターナショナル・スクールは、日本の法律では各種学校扱いで、卒業資格の取得できる正規の学校とは認められませんでした。しかし、この新しい学校は、日本で唯一の英語で教育を行う正規の小学校になります。

帰国した子どもの教育のチョイスがまたひとつ増えました。日本の教育課程に従った小学校の学習内容を「英語で学ぶ」ことができます。帰国子女・外国人・二重国籍の「英語での学習に親しんでいる」子どもを受け入れる学校です。

この学校の、今後の成長に期待しましょう。 (松本)

NEWS

今後広がる 公立の小中一貫教育

横浜市：全校で小中一貫教育

横浜市立の全ての学校（小学校 346 校・中学校 145 校）で、9年間の「小中一貫教育」を、2012 年から実施する方針を、横浜市教育委員会が決めました。

今年の4月から、小学高学年での英語・小学生の算数・理科・中学数学の基礎学習などを、小学校と中学の先生が協力して指導することが予定されています。

<http://www.asahi.com/national/update/0119/TKY200901190093.html>

大阪市：市立小中で一貫教育

大阪市教育委員会は2011年度から、小学校299校と中学校130校の市立小中全校で、小中一貫教育を始める。

中学入学後、勉強のスピードや人間関係の変化から学校になじめなくなる「中1ギャップ」を解消するため、小中のつなかりを滑らかにするのを主なねらいとしている。

中学校と周辺の小学校が連携し、中学校の先生が小学校で授業をしたり、小学6年生が中学校での授業や部活動を体験したりすることを想定している。

<http://www.asahi.com/kansai/sumai/news/OSK200903030094.html>

☆

公立の小中学校の一貫教育（小中連携）が、日本全国での広がりつつあります。

京都市・大阪府寝屋川市・奈良市・広島県呉市・東京都八王子市と品川区・宇都宮市などで、すでに実施または予定されています。ここで紹介した大阪市と横浜市は、500校にも及ぶ全公立小中での実施です。

この広がりのおかげのひとつに、2011年から小学校5・6年での英語学習が必修化があります。小学校では英語の先生の確保が大変なので、中学校の先生が応援します。

また、2012年からの新指導要領の実施にあたっては、小学生の進んだ勉強を中学校の先生が、中学生の遅れた学習を小学校の先生が担当するなど、小中学校の交流が進んでいきます。

皆さんが帰国される地域では？

(松本)